

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／倫理思想 (Introduction to Ethics)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	21世紀の人権問題		
担当者名 (Instructor)	柳堀 素雅子(YANAGIBORI SUGAKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ART1100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	教職課程を登録していない文学部学生用コード。(教職課程登録者はAL413で登録すること)		

授業の目標(Course Objectives)

本講義の到達目標は、

- (1) バイオエシックスの基礎的な理論と原理を学ぶこと
- (2) 性的少数者に関する問題を学ぶこと

The goals of this course are to

- (1) Obtain the basic knowledge about the basic concepts and principles of Bioethics.
- (2) Obtain the knowledge about the sexual minority.

授業の内容(Course Contents)

この授業では、バイオエシックスの諸問題と性的少数者に関する問題を学びます。

最終的には、日本と欧米における、バイオエシックスのあり方の相違と性的マイノリティの問題の相違点を理解します。

This course deals with Bioethics issues and the sexual minority.

At the end of course are to understand the difference in Bioethics and the sexual minority between Japan and Western.

授業計画(Course Schedule)

1. バイオエシックスの成立とその意義について
2. 生命誕生をめぐるバイオエシックスの諸問題(1) 生殖補助医療の問題
3. 生命誕生をめぐるバイオエシックスの諸問題(2) 出生前診断の問題
4. 生命誕生をめぐるバイオエシックスの諸問題についてのグループ討論
5. 生命の終わりをめぐるバイオエシックスの諸問題(1) 脳死と臓器移植
6. 生命の終わりをめぐるバイオエシックスの諸問題(2) 安楽死と尊厳死
7. 生命の終わりをめぐるバイオエシックスの諸問題についてのグループ討論
8. 性的マイノリティの問題について
9. 日本の教育現場は、性的マイノリティの問題とどう向き合うべきか
10. 性的マイノリティの問題についての欧米と日本の相違
11. 性的マイノリティの問題についてのグループ討論
12. 今後の日本の大学における、望ましい教育のあり方を考える(1)
バイオエシックスの諸問題に関して
13. 今後の日本の大学における望ましい教育のあり方を考える(2)
性的マイノリティの問題に関して
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

立教時間、Blackboard でいろいろな指示を出しますので、それに従って各自で予習や復習を行なってください。授業にはパソコンを持参して参加してください。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート(複数回)の内容(60%) / リアクションペーパーの内容(20%) / グループ討論の内容(20%)

テキスト(Textbooks)

使用しない。

参考文献(Readings)

必要に応じて、その都度豊富な文献を紹介します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)